

ち づ 智頭 議会 だより



町の花
どうだんつつじ

鳥取県智頭町議会

第144号

発行：平成30年10月22日

智頭の思い出シリーズ33



昭和10年2月の智頭駅前通り



☆ **火葬場は存続を** ...P16~P17

議会の意見を報告

☆ **厳しい中、貯金を増** ...P2

29年度決算を認定

☆ **9人の議員が町政に質問** ...P5~P13

☆ **ご意見の回答です(議会報告会)** ...P14~P15



役場前の智頭橋は、7月豪雨で土師川が増水し、越流する恐れがあった。

9月定例会

厳しい中、貯金を増

平成29年度
決算を認定

9月定例会（9月6日から19日）で町長提出の平成29年度決算12議案、平成30年度補正予算7議案など計28議案を審議し、賛成多数（議長を除く全員）で原案どおり可決しました。一般質問（5〜13ページ）には9人の議員が登壇し、町政の諸課題を議論しました。

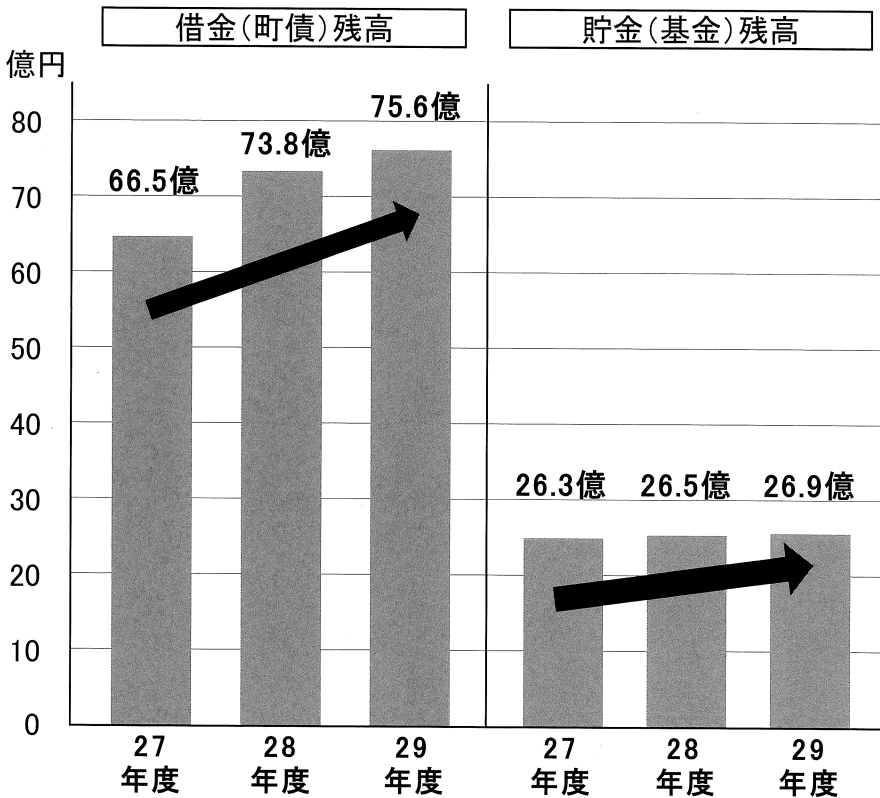


貯金(基金)の増を評価

一般会計の収入は59億5千万円余りで、町税などの自主財源は20・9%の12億4600万円余りです。厳しい財政状況下ですが、貯金(基金)は前年度比で3800万円増加し26億8700万円となりました(下図)。

借金(町債)も増

前年度比で1億7600万円増加し、残高は75億5500万円となりました(下図)。借金返済にあたる公債費は一般会計支出の8・2%の4億7000万円弱です。



持続可能な財政運営を

監査委員の主な意見



代表監査委員 小林 新
監査委員(議会選出) 中野 ゆかり

れる地方交付税ほか)がどの程度充当されたかの割合。90%を超えると硬直的だとされている。

未収金の発生防止を

【特別会計】

保険者負担の公平性確保のため、未収金(国保税Ⅱ約600万円、介護保険料Ⅱ約270万円)の発生防止と確実な納付に向けた取り組みを一層強化すること。

有収率の向上を

【水道事業会計】

有収率(配水量と収益水量との割合)が59・7%と前年度に比べ3・1ポイント低下しているため、向上に努めること。

外来患者数が減少傾向

【病院事業会計】

経営収支は黒字を維持しているが、人口減に伴い、特に外来患者数が減少傾向(前年比約2千人減の約4万5千人)にある。引き続き積極的な経営改革を推進すること。

財政の硬直化が進む
【一般会計】
経常収支比率(※)が98%と前年度に比べ5ポイント悪化し、財政の硬直化が進んでいる。人口減少などに伴い、今後とも厳しい財政状況が予想されるため、持続可能な財政運営に努めること。

(※) 経常収支比率

財政構造の弾力性(余裕)を示す指標。経常的経費(毎年支払わなければならない人件費、公債費など)に、経常一般財源(町税、標準的な行政ができるよう国から交付さ

【平成30年度予算の補正概要】 賛成多数(議長を除く全員)で可決(専決処分は承認)

区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容 ●:西日本豪雨災害関係	
一般会計	【専決処分】 5億3363万円 増	69億983万円	●林道施設災害復旧事業(2億4863万円) ●公共土木災害復旧事業(1億3000万円) ●農地農業用施設災害復旧事業(8627万円) ●緊急災害対応事業費補助金(3000万円) ●ふるさと整備土木事業(1000万円) ●森づくり作業道整備事業(800万円)	
	2億9662万円 増		●林道施設災害復旧事業(1億7367万円) ●公共土木災害復旧事業(7000万円) ●森づくり作業道整備事業(1717万円) ●歴史の道整備活用推進事業(757万円) ●林道維持管理事業(400万円) ●森林セラピー事業(256万円) ・観光事業(374万円) ⇒東京のJR神田駅構内に智頭スギを使ったPR施設の設置費	
特別会計	国民健康保険事業	1760万円 増	9億3442万円	・前年度の療養給付費などの確定に伴う償還金
	公共下水道事業	30万円 増	3億3769万円	・年度後半の時間外勤務手当
	農業集落排水事業	【専決処分】 1億1690万円 増	4億6133万円	●南因地区農業集落排水施設の仮復旧に要する経費
		30万円 増		・職員手当の調整
介護保険事業	1996万円 増	10億5204万円	・前年度の国県負担金の確定に伴う償還金	
企業会計	水道事業	4737万円 増	7233万円	●第2水源地(坂原地内)の取水部の復旧に要する経費
	病院事業	1145万円 増	3億2802万円	・医療機器(ナースクール関係)の購入費

注1:「専決処分」とは、議会が議決すべき事項について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるときに、町長が議会に変わって意思決定を行うこと。次の議会に報告して承認を得なければならない。

注2:企業会計は資本的支出(施設の建設改良に関する投資的な経費)に係るもの。

【人事案件】 賛成多数(議長を除く全員)で可決

件名	内容
人権擁護委員の推薦	「寺坂光子」氏の任期が、平成30年12月31日で満了となり退任となるため、新たに「前橋隆廣」氏を推薦することについて議会の意見を求められたもの。 (法律に基づき、町長は議会の意見を聞いて、任命権者の法務大臣に候補者を推薦する。)
智頭町教育委員会委員の任命	「米井照世」氏の任期が、平成30年9月30日で満了となるため、引き続き同氏を任命することについて議会の同意を求められたもの。 (法律に基づき、町長は議会の同意を得て任命する。)

次ページから

一般質問です

一般質問とは、町政全般について町長などの執行部に疑問点をただし、所信の表明を求めることです。

- ※1 一般質問の内容は、質問者自らが要約・執筆したものを掲載しています。
- ※2 議会事務局で、住所・氏名を書いていただければどなたでも議場で傍聴できます。人数に限り(24席)がありますのでご了解ください。

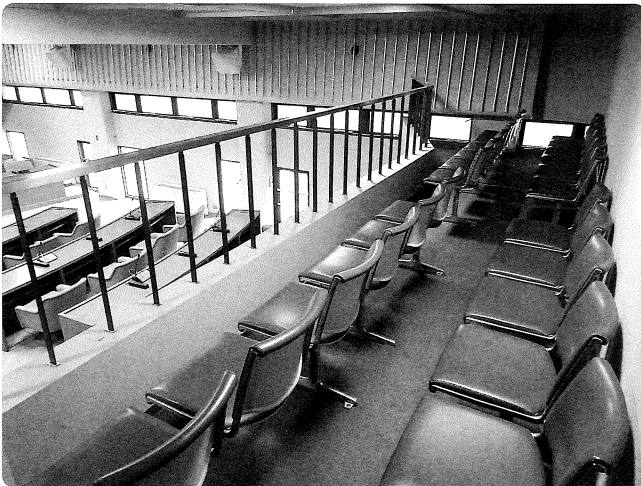
一般質問の録画をインターネットで見ることができます。

智頭町議会録画放送

検索



9月定例会には延べ24人の傍聴者がありました。



智頭町議会の傍聴席

陳情の審査結果

賛成多数(議長を除く全員) で可決

件名 (要約)	提出者 (要約)	審査結果
旧富沢小学校から出合橋間の道路拡幅・改良	富沢財産区議長 関係5集落世話人	採択
山木・中原間の歩道の照明設置	中原部落区長	採択
鳥取自動車道の防音壁の設置	中原部落区長	採択
中澤一博宅前の歩道の拡張	中原部落区長	採択
中澤福子宅及び藤原俊明宅裏の地盤の陥没対策	中原部落区長	採択
尾ノ見谷川(千代川支流)の護岸整備	尾見集落区長 地区住民一同	採択
尾見バス停付近護岸の補修整備	尾見集落区長 地区住民一同	採択
智頭小・中学校のエアコン設置	智頭小PTA会長 智頭中PTA会長	採択
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出	沖縄と連帯する とつとりの会 共同代表3者	不採択【※】

【※不採択の理由】

米軍基地建設に係るものであり、政府において高度の政治判断が求められる事案であること。



陳情書は定例会が始まる10日前までに提出してください。

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL 75-3115

答 町長 林道の災害復旧については、10月に予定されている災害査定に向けた準備を進めているところである。林道は、森林整備を進めていく上での骨格と

問 本町においても四百数十件にも及ぶ甚大な被害をもたらすなど、大きな災害となった西日本豪雨災害で、林道の崩壊に伴う木材の搬出に影響を及ぼす林道の復旧対策はどうなっているのか。

問 智頭町全域に避難指示が出され、10111人の方が避難されたが、「智頭町わが町支え愛活動支援事業」が大いに役立つと思う。今後の取り組みはどうか。



護岸が崩落して信号機も落下(上市場地内)

問 政府が来年末までに、すべての公立小中学校にクーラーを設置すると報道された。本

答 教育長 県下でも多数の熱中症事故が起きており、学校関係者と連携しながら、水分塩分などを補給し、休息時間を十分確保するなど、熱中症事故から子どもたちを守るため、猛暑の中での運動は控えるなどの対応をとるよう心がけてきたところだ。



学習環境整備を待つ智頭小学校

答 教育長 本町でも観測史上最高となる38・9度を記録し、児童・生徒の安全と健康を脅かしている。厳しい財政状況下ではあるが、平成31年度には町内小中学校にエアコンを設置できるよう、予算確保に向けて努力してまいりたい。

豪雨災害

被害の復旧状況と避難体制は
町長／復旧を着実に進めていく



安道 泰治

答 町長 「智頭町わが町支え愛活動支援事業」は、町内87集落のうち49集落で実施されてきた成果でもあると考えられる。今後ともこの事業の町内全集落での実施を目ざすとともに、町民の避難体制への理解を深め、協力体制を構築していく。

異常気象

熱中症対策とエアコン設置
教育長／31年度設置に向け努力する

問 熱中症対策について、小中学校のクラブ活動や屋外での運動についての規制や、指導はどうなっているのか。

答 町も早期設置をするべきだがどうか。

答 教育長 本町でも



酒本 敏興

人口減対策

新たな具体策について

町長／魅力ある町づくりを続けたい

問 総務省が発表した人口動態調査は、9年連続のマイナスと報じている。人口減少による町税や地方交付税の減少は避けられず、厳しい財政状況も予想される。さらなる充実を求められる子育て支援の新たな具体策と智頭町の移住定住対策事業の成果はどうか。

答 町長 人口減が続けば、町は苦境に立たされる。定住促進住宅の整備やリフォーム、

家賃助成や受け入れ自治会などの支援導入で一定の成果を挙げている。本町の特色を活かした魅力ある町づくりを続けたい。

問 住まい探し支援や新築住宅の普及促進や子育て応援事業を推進し、移住者数や出生率の実績を挙げている先進自治体もある。智頭町に新たなミッション(使命)があるのか。

答 町長 町有林の一

部を無償提供し、これを起爆剤に本物の林業家が育って行く。覚悟して移住定住に力を注ぐ責任を果たさなければならぬ。

問 三田地区「ゆめが丘団地」に造成工事が進行中で、自治体や不動産団体などとの連携と協力で人口減対策が進めば幸いだ。経済的負担の軽減や仕事育児の両立支援など、「行政・社会・家庭」が官民一体となる智頭町の育児環境整備が重要と考える。



ゆめが丘団地に整備された住宅

答 町長 子育て世代の働きやすい環境整備も重要な課題である。また、社員5000人以上いる県外企業の若手社員が自発的に、

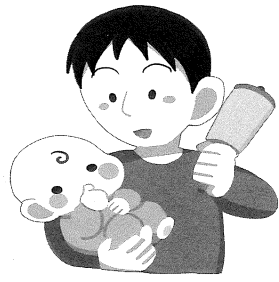
独自性の高い子育てを

町長／いろんな角度から検討したい

問 独自性の高い「子育て支援策」を実行する先進地の提案も加味して左記の内容を町長に提言したい。

- 在宅育児支給手当
- 高等学校等修学支援
- 医療費の無料化
- 出産祝い金交付
- ワクチン接種
- 不妊治療費助成
- 不育治療費助成

答 町長 議員の提言はとても貴重である。執行部にとつても大事なことで、いろんな角度から検討してみたい。





河村 仁志

にしにほんごううさいがい
西日本豪雨災害

過去にない豪雨災害、今後の対応は
町長／避難箇所の見直しも必要

問 過去最多の昭和54年の249ミリの倍約500ミリの想定をはるかに超える豪雨水害で、土砂流出、河川・道路の崩壊、林道・作業道の崩壊など甚大な被害が発生し過去にない豪雨災害を経験した。今後智頭町はどのような予防策、対応策を考えているのか。

答 町長 災害者向け緊急災害対策事業費補助金の新設、公共土木施設災害、各種災害普

及事業緊急修繕工事の発注など、被災箇所の一日も早い復旧を進めている。「わが町支え愛事業」のように地域との連携も必要。危険箇所の確認、被災原因の究明、指定避難所の再安全確認、民間施設の活用を含めた避難所指定の見直しも必要と考える。

問 避難場所の在り方や災害時重要災害発生箇所を現在の防災マップに記載し、避難場所

の見直しを特記事項として追記し、豪雨災害時の対応を加える必要があるのではないか。

答 町長 本町の地域防災計画の第2章災害予防計画に洪水災害予防計画に対応を定め、第3章の災害応急対策計画では、職員配備体制、動員計画、住民への広報計画、避難計画など具体的な対策はまとめている。今後、国や県の動向を参考に進めていく。

問 住民の安心・安全な生活を早く取り戻せるように、今年度事業・緊急性の低い事業を見直し、早期復旧の対応が必要ではないか。

答 町長 予算に計上の事業はいずれも住民の安心安全な生活実現のための必要な事業。国・県など総出で早急に解決していくよう自覚している。

問 自助努力の見えない観光事業の計画性があるのか、補助金のある方に問題があるのではないか。

かんこうしざく
観光施策

観光協会や石谷家住宅の補助金は
教育長／相談しながら進めて行きたい



一般社団法人 智頭町観光協会(智頭駅前)



旧山郷小学校前の国道373号崩落



大河原 昭洋

豪雨災害
農業林業に大打撃、今後の復旧は
町長／補助金の活用で迅速に進める

問 本町を襲った7月豪雨。農地農業用施設や林道・作業道でも町内各地で甚大な被害が発生した。今後、復旧を進める上で受益者負担は避けられなく、農業・林業離れの加速が危惧される。

答 町長 農業・林業において、災害復旧の受益者負担は条例や規則によって定められているが、国や県に申し入れを行い、できる限り負担の低減に努める。

問 初めて「大雨特別警報」が発令されたことで、本町全域に「避難指示」が出された。1人でも多くの住民が避難していただくためにも行政の避難情報をもっと分かりやすい表現に変えるべき。

答 町長 緊急性がある場合、そのときの状況に合わせた言葉や声のトーンが重要と考える。今回は教訓として、今後は分かりやすい表現に努める。

問 佐用町の豪雨災害では夜間の避難中に水路に転落して12人の犠牲者が出た。空振りになっても明るいうちに避難情報を出すことが必要ではないか。

答 町長 暗くなつてから急激に状況が悪化する場合もあるが、できる限り早めに、明るいうちの発令が重要である。今後は消防、職員にも徹底する。



大量の土砂が流入した農地(篠坂地内)

熱中症対策
小学校・中学校へのエアコン設置は
教育長／整備に向け予算確保に努める

問 今年の夏は猛烈な暑さに見舞われ、愛知県では小学1年生が熱中症で死亡する事例も発生した。小・中学校へのエアコン設置の緊急性を感じるが、どのように考えているのか。

答 教育長 機器の確保の他に受電設備、室外機の設置など、大がかりな関連工事も必要となるため、予算計上の時期を考えながら、来夏に間に合うように進める。

答 教育長 猛暑対策は喫緊の課題と認識している。政府も財政支援を表明しており、町としても厳しい財政状況の中、国の補助制度を活用しながら教育環境の整備に努める。

問 来夏までの設置に向け、全国的に業者の確保、エアコン機器の注文殺到が懸念されるが、間に合うのか。



学習環境の改善が待たれる智頭中学校



岸本 眞一郎

町営火葬場

町長／自主運営は困難だ

智頭らしい福祉の実現を

問 智頭らしい福祉、

東京ではできない福祉をと常々いつている町長だが、人の死は避けて通ることはできない。死者をどう弔い旅立たせるかは、残された者と行政の責務だと考える。町長は火葬場運営を行政施策にどのように位置づけているのか。

答 町長 火葬場は単

独であれ広域であろうとも必要な福祉事業施設と考えている。

問 智頭町の総合計画

の将来像である「一人ひとりの人生に寄り添えるまち」は生まれてから死ぬまできちんと面倒をみるのが智頭らしい福祉といえるの

答 町長 新たな施設

建設か広域運営に参加かについては、自主運営と広域運営を比較すると年間費用や将来の運営費に格段の差があり、今後減少する人口で自主運営するのは困難だと考える。



昭和40年に設置され53年が経過する町営火葬場

問 財政的な問題を一番大きな理由にしているが、年間900万円

としていた運営費の根拠が不明確だ。

町民の理解を得るための説明が必要だと思

答 町長 私は別に強

引に物事を進めようとは思わない。これからはしっかりと数字など（財政的な問題）や広域行政について理解していただくよう町民の中に出て説明しようと思

町財政

町長／厳しい状況が続くと思う

現状と今後の認識は

問 現状と今後の財政

状況の認識と総合計画に盛り込んだ事業をどのように実施するのか。

今後各課に対し総合

計画との整合性や対象事業の内容に関するヒアリングなどを行い、現状と比較しながら必要に応じて見直しを行う。

答 町長 自主財源の

柱である町税及び歳入の約半分を占める地方交付税が減少傾向にあり、今後も厳しい財政状況が続くと思われる。



都橋 一仁

熱中症対策

エアコン設置と地球温暖化対策の両立

町長／宇宙や地球が怒ったら怖い

問 政府が方針を固めた小中学校へのクーラー設置による熱中症予防と、冷房使用励行による二酸化炭素など温室効果ガスの排出を伴う地球温暖化、相反する事象への根本的解決をいかがお考えか。

答 町長 森林には温室効果ガスである二酸化炭素の吸収機能があるため、まずは町の林業振興施策をさらに充実させていくことが重要。

また、学者が地球温暖化についていくら言っても耳を貸さずとしないのが現状であると思う。宇宙から見たら人間なんて埃や塵で、人類の好き勝手な行動により宇宙や地球が怒ったら怖い。

そのため地球温暖化防止に日ごろから関心を持ち、節電を心がけたり、紙や物をむだ遣いしないなど、身の回りでできることから取り組んでいくことが重要であると思う。



問 子どもの熱中症予防対策のポイントは、汗腺である。汗腺は、3歳までに完成し、暑い中で育てるほど発育し、体温を下げる効果がある。智頭町では自然保育を推奨するため「育みの郷構想」や「森のようちえん」に取り組んでおり、汗腺の発育・維持に寄与する活動を行っている。

問 智頭町における子どもの虫歯有病者率、虫歯未治療者率は県内でもトップクラスである。医療費の無償化など虫歯治療施策の強化を検討する考えはないのか。

答 町長 無料化については、子育て支援の観点で、今後必要性も含め検討していきたい。

問 財源的な問題もあると思うが、財源を必要としないSIB事業(※)という仕組みもあるが、何か情報もっていないか。

答 町長 SIB事業に関して、詳しくは存

SIB事業

特別医療の無償化について

町長／火葬場の東部広域加入で財源を

じあげていない。

財源に関しては、火葬場の東部広域加入により予算を確保し、生きている子どもにも使うことも検討したい。

(※)SIB(ソーシャルインパクトボンド)事業 行政機関が民間から調達した資金を使って、民間企業や法人に公的サービス事業を委託し、その事業により将来の社会保障費を削減できたこと認められた場合、削減額の一部を資金提供者に報酬を支払う仕組み。

日本で最初の事業として、東京都八王子市で大腸がん検診の受診勧奨事業を2017年5月に開始した。がんの早期発見による治療費削減を目的としている。



高橋 達也

災害緊急対応補助

初^{はつ}の措置^{そち}、改善^{かいぜん}の検討^{けんとう}など課題^{かだい}は町長^{ちやう}／現行^{げんてう}のままの制度^{せいど}とする方向^{ほうこう}

問 西日本豪雨では、

住宅被害なども多く発生した。町は個人や集落が対応するための補助制度（2分の1補助・上限30万円）を迅速に創設し、敬意を表す。事後申請が可能など弾力的な制度だが、改善を検討すべきことなど課題は生じなかったか。

答 町長 8月末で35

件600万円弱を交付決定。財政的背景から、現行のままの制度とする方向で検討したい。



住宅の裏山から大量の水と土石が流出し、歩道添いの水路などが埋まり、住宅の床下や敷地内にも堆積した現場＝大呂地内 7月7日

問 補助対象は大規模

災害だが、近年は局地的な豪雨も多く、今後は局地的な災害も補助対象にすべきでは。

答 町長 町民が困ら

ないようになりたいが、ある程度の線引きはしておきたい。

林道の災害

職員に林道技術者の養成が必要
町長／林道に限らず育成確保に努める

問 約40年ぶりに林道

に甚大な被害が発生し、町内の林道の8割が被害を受けたと地元新聞に大きく報道された。林道の場合、入口に近い場所で1箇所被害を受けて車が通れなければ、そこから奥へは歩いて被害調査しなければならぬ。そこで最近では多方面で活用されているドローン（※）を、林道災害の初期調査に活用してはどうか。

答 町長 災害復旧に

向けた初期調査の効率化を図るためにも、導入もしくは災害協定に基づく業者委託などについて、前向きに検討していきたい。

問 県の林道担当者の

応援を受けて査定準備をしたことはやむを得ないが、町職員に林道技術者を養成してリーダースhipをとることが必要だ。

答 町長 定員の範囲

内になるが、今後も土木・農林に限らず、技術者の育成と確保に努めていきたい。



林道の被災現場＝駒帰地内

（※）ドローン
リモコンで操縦する
小型ヘリコプター



中野 ゆかり

観光行政

イベントを減らす考えはないか
町長／住民主体の開催が多く不可能

問 報道にて徳島市の観光協会が、徳島地方裁判所から破産手続きを受けたことを知った。このことがきっかけで、本町の観光行政を再度見直したく、質問する。本町で行うイベントを減らす考えはないか。

答 町長 現在開催されている多くのイベントは、住民主体で開催されているため、町が強制的に変更することは不可能だ。

問 1年間のイベント

を挙げてみると、春は桜カフェ、町民運動会、夏は来んさい・見んさい・踊りんさい、秋はハイカラ市、民泊マラソン、智頭図書館まつり、ほのぼのフェスタ、冬は雪まつり。そして、各種団体や実行委員会、また観光協会主催の祭りがある。例えば、どうだんまつりや雛あらし、おかげ地蔵市、土曜夜市、林業まつり、様々なウォーキングイベントが行われ、その



昨年の第6回ハイカラ市(11月5日)

間に、各地区公民館及び各集落の行事、また、保・小・中学校の行事も入る。

イベントを減らすことにより、役場職員の負担や残業も減り、本来しなければいけない住民サービスに集中できるのではないか。

答 町長 町民が自主的にやりたいということを気持ちよく受け止める、役場も一緒に取り組む応援体制を作らざるを得ないと感じている。

観光協会

年中無休に戻すべきでは
町長／委託料の増加が予想される

問 現在、毎週水曜日が定休日(注118月から11月末までは無休)だが、観光客のために、年末年始を除き、年中無休に戻すべきと思うがどうか。

問 観光協会の補助金は、鳥取県東部4町の中で本町が一番高い。年中無休にすることで補助金が增大するのであれば、委託内容も含め検討すべきでは。

答 町長 年中無休にすると、人員の配置が必要で、委託料の増加が予想されるが、検討したい。

答 町長 今後、観光協会と話し合いを考えている。



年中無休が理想の一般社団法人智頭町観光協会



大藤 克紀

セラピーロード
森林
町長／進入路とロードの復旧が優先

問 横瀬溪谷セラピーロードが災害に遭っているが、今後の復旧をどのように計画しているのか。

答 町長 車両によるセラピーロードへのアクセスが困難な状況であり、まずは、道路の復旧を進める。ロード全般の損傷がひどく、復旧には相当時間を要する。早い時期に供用開始できるように復旧の検討を進める。

問 セラピーロード利用者用の駐車場が必要と考えるが、今後の整備計画はどのように考えているか。

答 町長 現在、地元との協力により既存の空き地を利用しているが、少し広い駐車スペースが必要であり、駐車場の確保は、今後地元と協議しながら検討する。

問 進入路として林道横瀬谷線を活用しているが、山腹からの土砂流出が発生している。危険が伴うと思われるが、今後どのような対策を考えているか。

答 町長 本路線の管理者は森林組合であり、今後、協議をし対策を講じていく。危険な場所は、把握しきちんと対策を練っておく必要がある。



洗掘されたセラピーロード進入路

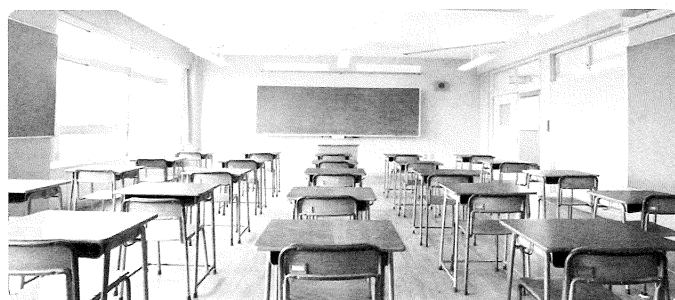
環境
教育の整備
地球温暖化に伴う空調設備の設置
教育長／国庫補助制度を活用し早急に整備

問 学校に空調を整えないと児童・生徒たちの学習効果が損なわれ、健康・安全を守るため、猛暑対策は喫緊の課題である。また、熱中症予防としてどのような対策がなされているのか。

答 教育長 来年度より年次計画的に設置する予定であったが、政府の補正予算措置との方針により、国の補助制度を活用し、厳しい財政状況であるが、小中学校の教室にエアコンを整備できるように予算確保に向け努力する。

問 エアコン設置の費用として、「ふるさと納税」の基金を充てる考えはないか。

答 教育長 教育施設整備基金の6億3千万円を有効活用し、充当したいと考えている。



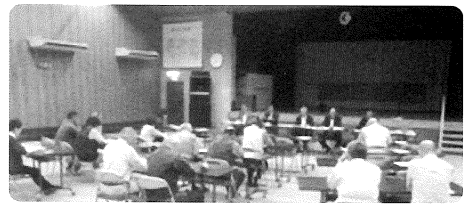
全国で7割の小中学校にエアコンが設置されていない

議会報告会

★ご意見の回答です★

参加者、過去最多の95人

5月23日から25日の3日間、議員が2班に分かれ、6地区に出向き、議会報告会を開催しました。今年で8回目になりましたが、計95人の参加（過去最多）があり、町政に対するご意見ご要望をお聴きしました。その場で説明できたもの以外は持ち帰り、整理集約したものを町長へ提出し、回答がありました。（要旨を記載）



智頭地区の議会報告会(5月24日・総合センター)

なお、火葬場に関するご意見も多くお聴きしましたが、議会の特別委員会にて参考にして議論し、9月定例会の最終日（19日）に議会の意見を議長に報告しました。（16～17ページ参照）

選挙公報の発行

昨年の町議選が無投票となったため、選挙公報が発行されなかった。町民としては、無投票となっても立候補者がどのような政見を示しているのか知りたく、開示請求を行って入手した。今後、無投票となった場合に発行をどうするか検討してほしい。

（回答）公職選挙法第171条の規定により、選挙が無投票となった場合は、選挙公報の発行は中止されることとなります。選挙公報は、選挙人（有権者）が投票するにあたっての判断材料を提供するために発行するものですので、無投票となった場合は発行の目的がなくなるため、発行は行わないこととなります。

郵便物発送の整理合理化

夫婦2人で暮らしているが、がん検診の受診券が夫婦にそれぞれ1通計2通、さらに特定健診の受診券が同様に2通、計4通届いた。同じ時期に同じ課から郵送するのであれば、一つの世帯にまとめて郵送すればよく、経費の無駄を改善すべきだ。

（回答）受診券を世帯で一つにまとめると、各世帯員の手を受診券が渡っていないケースや、一つの封筒に入っていて分かりにくいという声もあり、住所は同じでも別の世帯という場合もあります。このため、現在は各世帯員に確実に受診券が届くよう、個別郵送としています。

重要文化的景観（智頭の林業景観）

林業景観として全国初の選定となったが、今後どのように活用していく考えなのか。

（回答）整備検討委員会（仮称）を来年度より立ち上げ、整備の具体的な進め方などを考えていきます。



健康寿命

高齢化が進み対策が必要だ。健康に対する運動など、強気に進めてほしい。

（回答）健康寿命の延伸のため、智頭町では健康増進計画（健康ちづ21）を平成29年度に改訂し、①自身の健康管理、②食事、③運動、④こころの健康、⑤飲酒、⑥たばこ、⑦歯の健康、の7つの分野で目標や施策を設定しています。この計画に基づき、様々な施策を推進します。



百歳体操（坂原集落）

（詳しくは福祉課・健康づくり推進チーム ☎（75）41001へ）

育みの郷 構想事業

将来に「つけ」が残ることはやめてほしい。

(回答) 出産前から子育て、そしていのちを閉じるまでをサポートする構想で、相談やヨガ、いのちの授業や産前産後ケアをします。産科医院の誘致を最終目標としています。つけが残るのではなく、明るい未来を築くために推進しています。

農業・農地アンケート調査

結果を多くの住民に知らせて、有効に活用してほしい。

(回答) 昨年10月に調査し、1347人に配布、922人(69%)の回答をいただきました。調査結果を踏まえ、現在、集落に向いて今後のあり方を考える取り組みを進めています。

地域整備関係

道路愛護事業は、町道だけを対象にせずに進めるべき。

(回答) 町道のほか町長が必要と認める施設も対象にしていますので、地域整備課(☎75)4113へご相談ください。

ふるさと整備土木事業が不採択だった。再検討してほしい。

(回答) 現地確認して、重要性・緊急性・公共性・受益範囲などを判定しています。毎年多くの申請があり、全ての申請を採択することは予算的に不可能であることをご了承ください。

定住策

ゆめが丘団地は中途半端でなく、40軒くらいの家が建ち、1つの村ができるくらいに進めてほしい。

(回答) 徐々に住宅建設を進め、最終的には自然豊かで住みやすい団地となっていくことを目指しています。



住宅改修助成事業は良い事業なので、続けてほしい。

(回答) 平成26年度から29年度まで実施しました。この事業に代わる事業について検討する時期であると考えています。

子どものスポーツ支援

スポーツの指導者を目ざす人は、資格をとる

ためにお金がかかるので、支援が必要ではないか。

(回答) 指導者を対象にした支援制度は無く、他市町の制度などを参考に検討していきたいと考えています。



公民館の施設整備

那岐地区公民館(旧那岐小学校)は避難場所になっている。消防上、自家発電や自動放送施設が必要だ。

(回答) 各部屋の使用形態を地元と協議しながら、消防法上必要な設備を設置していきたいと考えています。

川魚への対策

災害の工事により川が濁り、鮎がとれるか心配だ。

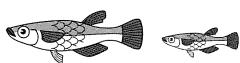
(回答) 発注者(国・県)が指導し、業者も努力しています。

渓流魚や鮎に関して予算化してもらいたい。

(回答) 外来種の駆除を通じて在来種の生息環境を整え、今後の放流の可能性について検討したいと考えています。

集落排水の週末処理場の排水は、塩素基準を満たしていても魚が死ぬので、処理水の再度処理の検討を。

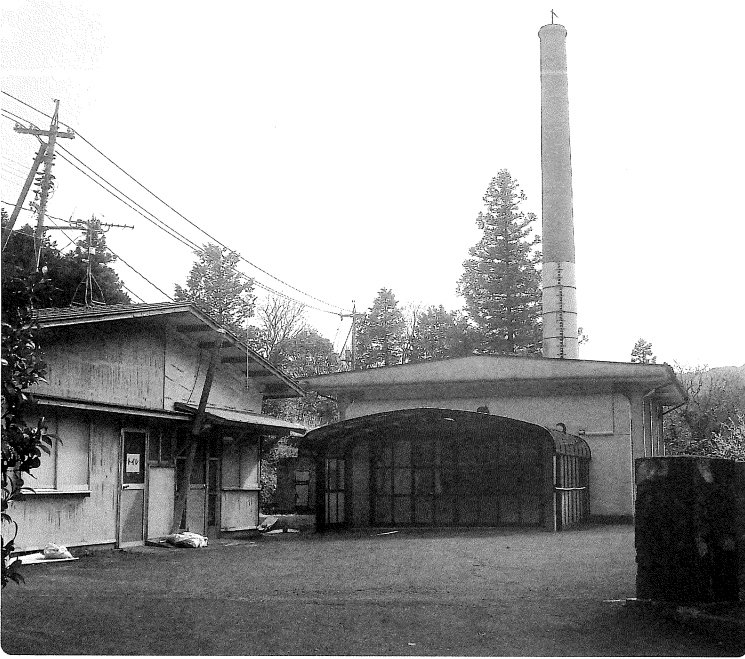
(回答) 定期的に検査し、規定値の最低限の水を放流しており、放流水に含まれる塩素量は魚が死ぬ量ではありません。



存続し現在地以外に新施設建設を

議会の意見を9月定例会で報告

老朽化した町営火葬場の今後の運営について調査研究してきた智頭町営火葬場調査特別委員会（議員全員で構成）は、9月定例会の最終日（19日）に、「存続し、新たな施設を現在地以外に建設することが適当」との総括意見を議長に報告しました。



昭和40年(1965年)に設置され、耐用年数の50年を既に3年経過した町営火葬場。老朽化が進み、修繕しながら使用していますが限界が近づいています。

意見の理由

町民世論の反映・尊重
民意を把握するため
に行った、①火葬場近
隣の集落（下町、中町、
錦町、湯屋、鳥巢）へ
の聴き取り調査、②議
会の6地区への説明会、
③毎年行っている議会
報告会、での参加者の
意見を総合的に判断す
ると、存続を望む意見
が多いと思われる。

町による町民との情報共有・合意形成の積極姿勢が見受けられない
町が平成27年12月に策定した「公共施設等総合管理計画」では、火葬場は建替えするとされていますが、存続を断念して、東部広域行政管理組合の施設に平成31年度から加入したいとの方針が示されました。この総合管理計画では、施設の存続をやめる場合には、「住民の理解と合意形成が特に重要で、十分な話し合いと時間をかけた合意形成が必要」とされていますが、現状では町による町民との情報共有・合意形成に向けた積極的な姿勢が見受けられません。

現施設は修繕対応での長期運営は不可能
耐用年数の50年を既に3年経過し老朽化が進んでいるため、修繕しながらの長期運営は不可能です。
現在地以外に新施設を建設することが最適
現在の施設を利用しながら新施設に移行することで、建設中（約3年を想定）に東部広域行政管理組合の施設を使用する料金（1体5万7千円）との差額（1体3万7千円・3年間で約1700万円）が不要となります。
このため、現在地以外に新たな用地確保を行い、新施設を建設して運営することが最も適していると判断されます。

留意事項

経費の節減を徹底

新施設の建設・運営に当たっては、経費の節減を徹底するとともに、町全体の各種事業内容・計画を精査検証し、持続的な行政運営に資するよう一層留意する必要があります。

東部広域の施設に加入すべきとの意見も

町民や議員の中から、将来の財政運営を懸念して、東部広域行政管理組合の施設に加入すべきであるとの意見があつたことを付記しておきます。

議員の意見集約

東部広域へ加入・4人

大河原、岩本、中野、酒本

【主な理由】

・今後、図書館建設や役場庁舎と総合センターの改築などがあり、将来的な財政負担を考えると存続は難しい。
・新たな候補地確保は困難を極め、確保できたとしても想定以上に経費がかかる。

存続・7人

安道、國本、河村、高橋、岸本、大藤、谷口

【主な理由】

・町民の意見は存続が多く、民意を尊重すべきだ。
・東部広域に加入しても30年後には建替えて新たな負担が生じるので、存続してもう一踏ん張りすべきだ。

判断不可・1人

都橋

【主な理由】

・存続する場合の用地確保など、判断材料が揃っていない。

○報告の詳細は、町のホームページを参照してください。

林業景観を説明

奈義町議会との交流会

■期日 8月17日

■場所 智頭町役場

■概要 毎年交互に開催しており、今年は智

頭町が当番でした。

奈義町議会から9議員（1人欠席）が来町。

今年2月に国の重要文化的景観に選定された「智頭の林業景観」を説明し、意見交換しました。



奈義町議会（奥側）と意見交換



平成28年1月に稼働開始した炉数2炉の岡山県真庭市(旧中和村)の火葬場(5月31日に議会が視察)。建設費約6億円で待合ロビーや和室10畳などの豪華な施設。智頭町に新設する場合、最低限の規模で良いと思われます。

空き店舗活用と道の駅の視察

■視察日 7月2日

■視察地 倉吉市

【チャレンジショップ 倉吉市東仲町】

倉吉市の観光地「赤瓦」周辺の空き店舗を活用し、店舗改修や賃貸料に対する補助制度を倉吉商工会議所が取り組んでいます。自分の店を持ちたいという方への開業支援の公募で、「和カフェ茶屋」など3店舗が営業中です。本町でも出店の夢を抱いている方へ類似の事業展開が望まれます。



商工会議所と市の職員(奥の3人)から説明を受ける=商工会議所会議室

【道の駅 犬狹いぬぼとろ 倉吉市関金町山口】

農村観光地として都市住民との交流を促進している関金町の国道313号添いに、平成10年7月にオープンしました。第3セクターが経営し、地元農産物の生産組織と提携しています。昨年度の売上高は約7千800万円(目標8千300万円)です。目玉商品の「わさび醤油」が好評で、店舗販売のほか電話注文も多いとのこと。本町で展開する場合、目玉商品が課題となります。



標高313mに立地する和風の「道の駅犬狹」=国道313号添い

西日本豪雨災害による被害の視察

■視察日 7月11日

■視察地 智頭町内全域

最初に、7月の豪雨災害で、被災された町民の方々にに対し、お見舞い申し上げます。

7月11日に、奈良県生駒市への視察予定でしたが、あまりにも甚大な被害のため、町内被害箇所を視察に切り替えました。

四百数十件にも及ぶ、近年まれに見る大きな災害でした。本町としても、早急な復旧が必要なことはもとより、避難指示が出されるから、指定避難所や自主避難所へ1011人の方が避難されました。これは平成

25年度から「智頭町わが町支え愛活動支援事業」が進んでいる大きな成果だと思っています。

現在49集落が取り組んでおり、消防団による安否確認や、浸水を防ぐ土のう積みなどの協力的体制、防災マップを使った効果は、非常に大きいと思われました。災害時に備えて、智頭町全集落が取り組むべき事業であると思います。



土石の流出で被害を受けた民家(上市場地内)

ありがとうございました

7月の豪雨災害に対し、鳥取県町村議会議長会から智頭町議会を通じて智頭町に見舞金及び義援金が寄せられました。

表紙の想い出シリーズに評価

県町村議会広報研修会

智頭議会だよりの表紙写真「智頭の想い出シリーズ」が連載で昔の写真と今を紹介していることに、良い企画と評価を受けました。

■研修日 8月26日

■場所 三朝町「溪泉閣」

■参加者 委員全員(5人)

議長(発行責任者)

■講師 芳野 政明氏

(ウイズワークス株式会社取締役)

■研修内容

住民に手に取ってもらおうアイキヤッチや訴求力ある表紙、本文に誘引する力のあるコンテンツ(もくじ)表示になっているか。

■見出し

具体的で的確、訴求力があるか。記事内容にふさわしい書体使用か。

■レイアウト

視覚度や図版率(写真や見出しの大きさ、図表などの見た目、空白)を意識し、メリハリある読みやすい割り付けか。

議員全員参加 人権西日本夏期講座

■期日 6月28日～29日

■場所 米子市

米子市公会堂

■講演内容

▽鳥取県の障がい者差別解消の取り組み

▽ヘイトスピーチ解消法の具体化に向けた自治体の取り組み

▽部落差別解消推進法の具体化に向けた取り組み

▽ハンセン病問題から学んだこと若者たちの声

会場が2会場に分散されての開催であったため、すべての講演を学習することはできませんでしたが、

4講演を聴講し今後の議会活動及び議員活動へ活かしていきます。



米子コンベンションセンターでの講演(6月29日)

町民の意見を編集に反映 議会広報モニター21人を紹介

智頭町議会では、編集の改善に町民の意見を反映するため、平成26年4月からモニター制度を実施しています。地区割人口、男女比、年齢を考慮して、なるべく幅広い層から人選し、現在21人のモニター(左記の方)に依頼しています。よろしくお願ひします。

【智頭地区】

徳永 起宏 矢部 彰一

平石 晴敏 中田 愛子

中野 富士子 河村 隆

【土師地区】

小林 恵 木村 貴代香

【那岐地区】

安住 博幸 山方 愛詩

【富沢地区】

西村 剛 岡 恭子

【山形地区】

小屋本 光 勢登 郁代

酒本 美鈴

【山郷地区】

早瀬 武洋 岡田 美枝子

【智頭中学校生】

奥村 太輝 寺谷 七星

【智頭農林高校生】

山本 龍平 林 祐里 (敬称略)

民泊をきっかけに移住を決断

毎日がキャンプ よしたありつね 吉田有恒さん(山郷地区新田集落)

「空気が美味しい」

これが東京から鳥取空港に初めて降り立った時に感じた私の第一印象です。

平成25年3月、雑誌でしか知らなかった智頭町に初めて訪れた時、山郷地区の2件のお宅で「民泊」をさせていただきました。

両ご夫婦は移住について悩む私たちの話を真剣に聞いてくださいました。それが智頭町に移住をするきっかけになりました。

平成26年5月、私たち家族は新田集落のロッジとんぼの見える家で移住生活のスタートを切りました。冬はめっちゃめちゃ寒かったのですが、毎日がキャンプのような楽しい生活でした。

新田集落の皆さんは親切で、私たち家族を仲間に入れてくださいました。今は集落内の古民家に転居し、薪風呂、薪ストーブのある田舎暮らしを満喫しています。

現在の日常

息子は「空のしたひろば」すぎぼつくり」に入園し、家族の中で智頭町の豊かな自然に一番親しみ、鹿の鳴きまねができる子になりました。

妻は、ちづぶるーで染物を作り、今は自分なりに創作活動を楽しんでいます。

私は今、八頭町の大江山自然牧場で働いています。

そこでは閉校になった大江小学校を活用し、宿泊や飲食ができる施設にするプロジェクトを行っています。来春のオープンを目ざしていますので、遊びに来て頂けたらうれしいです。



花籠まつりの記念写真

智頭町は移住の成功事例

先日、大阪で開催された鳥取県のUJITアートの相

談会に移住体験と企業紹介を兼ねて参加してきました。以前より多くの自治体が移住受入れに力を入れていくように感じました。智頭町は全国的にみても移住の成功事例だと思えますので、先行者利益を活かし、移住後の本人や受け入れ集落の声を継続的に調査分析し、これからの施策にいかしてほしいと思います。

つくろうよ 事故なし 笑顔の鳥取県

鳥取県交通安全スローガン

智頭町議会は「交通事故のない安全・安心なまちづくり宣言」を決議しました。



(平成29年9月20日)

編集後記

7月の数十年に一度と言われる西日本豪雨で、人的被害はありませんでしたが、被災された方には一日も早く「安心な日常」が戻ってくることを切に願っております。

今年も地球温暖化が一因と言われる災害並みの猛暑・豪雨でしたが、便利さを追求し温室効果ガスの排出を伴うエネルギーを消費してきた結果であることも否定できません。台風・地震などの天災も日本全国で起きており、人が作ったものを容易く破壊する現況を目の当たりにすると、自然との共生を求められている生物としての責務を深く考えさせられます。(都橋)

編集 議会広報常任委員会

- 委員長 都橋 一仁
- 副委員長 安道 泰治
- 委員 國本 誠一
- 委員 高橋 達也
- 委員 大藤 克紀
- 発行責任者 議長 谷口 雅人